



## 第9回未来に伝える平和祭「シネマカフェ」開催報告②

### ◆参加者からの感想のつづきです。

○ブータンを見ていると日本人とお顔が似ているせいか日本の原風景(皆で輪になって踊るとか)日本の TV や選挙が始まった頃のように思いました。平和を願う気持ちは「世界どこでも同じ」ということで勇気を頂きました。「皆で乗り越えよう」のフレーズがとてもうれしいです。民主国家?! 世界一のアメリカよりも TV、インターネット民主主義(選挙)が世界一遅れた国ブータンが仏の教えを源(平和・安らぎ)にし、静かに勝ったように感じました。ブータンの自然と人々の暮らしが溶け合う光景にとり戻したい日本の風景がありました。

○ポップコーンとのみもののあるシネマカフェというのは楽しい企画でした。ハートウォーミングというのが目にとまったので、自分自身も含め悔しさや怒りを癒してくれるかなと、友人も誘って参加しました。スカッとしたし、大切にしたいことが、この映画の表現していることと同じで癒されました。不便かもしれないけど、無償の教育が保障され、女の子も男の子も尊重される国であってほしいなあと、ブータンのことはあまり知らないのに考えたりしました。私の生まれた山村ののんびりとしていた暮らしを思い出しながら。ペニスの模型が出てきたのには、びっくりして、命の大切さを言っているとは思ったものの、男尊女卑の風土を感じたりしました。行ったこともないのに勝手に思ったのですが。楽しかったです。さすが吉田さん。素敵な映画をありがとうございました。

○とても面白かったです。近代文明、近代化「民主制」etc について考えさせられました。たくさんの大事なものを犠牲にしながら「今」がある…「進歩」の名のもとに。

第9回未来に伝える平和祭、「シネマカフェ」への参加ありがとうございました。参加されなかったみなさんもこの『お坊さまと鉄砲』を観たかったなあと思われたのではないのでしょうか。武器とは何か、平和とは何か、本当の幸せとはどういうことなのか、考えさせられる映画でした。

現在、ウクライナをはじめ世界各地で武力による衝突が続き、多くの尊い命と平穏な暮らしが失われています。

これらの出来事は、決して遠い国の問題ではなく、私たち一人ひとりが向き合うべき現実です。

日本国憲法を「改正」しようとする動きがあります。憲法に掲げる「戦争の放棄」は、決して過去の理念ではなく、今を生きる私たち一人ひとりに託された約束なのです。

この映画を通して、日本国憲法の大切さを改めて心に刻むことができました。平和を守るとはどういうことなのか、これからも様々な機会を通して考えていきましょう。



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください!



///JTU 北九州市教職員組合

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

